

## モラルハラスメント≡精神的 DV を知っていますか②

ドメスティック・バイオレンス（以下 DV）という言葉は、最近では多くの方が知る言葉となっていると思います。では、モラルハラスメントは？モラルハラスメントとは、フランスの精神科医イルゴイエンスが精神的 DV を DV から抽出して世に知らしめた言葉といえるでしょう。DV には五つのカテゴリーがあり、「身体的暴力」「精神的暴力」「経済的暴力」「社会的暴力」「性的暴力」ですが、実はどのカテゴリーにも潜んでいるにも関わらず、最も気づきにくく、そして実は心に傷を残しやすいのが、精神的 DV なのです。

身体的暴力を受ければ、誰でもそれが DV である。間違っただけの行為である、と自覚することができますが、精神的な DV は知らず知らずの内に心に沈み込み、自分を、自尊心を殺されていきます。例えば、自分の考えを述べようとする耳を聞かずに否定される。何をやってもおまへはどうしようもない奴だと馬鹿にされる。ちょっとした失敗を延々と叱り続け、失敗だけでなく、その人の「人格」まで否定する。言葉にしなくても態度で、無視したり、威圧したり。「怒らせた私が悪い」と罪悪感を抱かせ、追い詰めていくのが特徴的です。昔はそんな男、多かったわよ。男尊女卑って言ってね……。いえいえ、違うのです。それよりもっと危険なものなのです。

昔たくさんいた男尊女卑の中にも、この精神的 DV の加害者がいたことでしょう。時代の背景が、全てを男尊女卑に含め、この怖さを見落とさせていた。男尊女卑だって、今の世の中、あまりほめられたものではありませんが。この精神的 DV と、男尊女卑の人との決定的な違いというのは、自分の問題を他人になすりつけて、自分の心を守る生き方をする、ということです。実は自分しか愛していない。いえ、自分も愛していないのかもしれないね。本来自分の中で解決したり整理すべき問題を、全て他人になすりつけ、自分の心のゴミ箱にしてしまう。他人は、そう、妻には妻の生き方や価値観がある。一人の人間である、なんてことは一切考えず、自分の為存在していると考えています。イライラしている時に八つ当たり……。誰でもそれをしてしまうことはありますが、それとは明らかに違います。八つ当たりしている自分をたいていは反省したり、後悔したりしますよね。しかし、彼らは、八つ当たりしている自分を認めることさえもストレスに当然なりますから、一切、認めようとしません。少し普通では考えられない性格構造を持っています。

次回へ